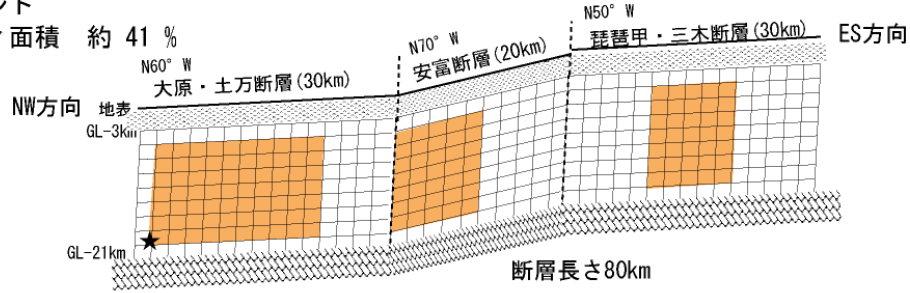


S (面積) = 1440 (km²)
 M_0 (モーメント) = 1.2E+20 (Nm)
 $M_w = 7.3$

◎モデル1：ケース1-1 山崎断層帯主部 (北西部+南東部)

※1セグメント

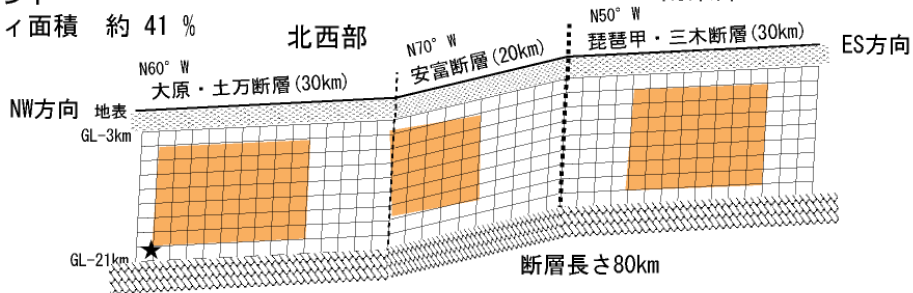
アスペリティ面積 約 41 %



◎モデル1：ケース1-2 山崎断層帯主部 (北西部+南東部)

※2セグメント

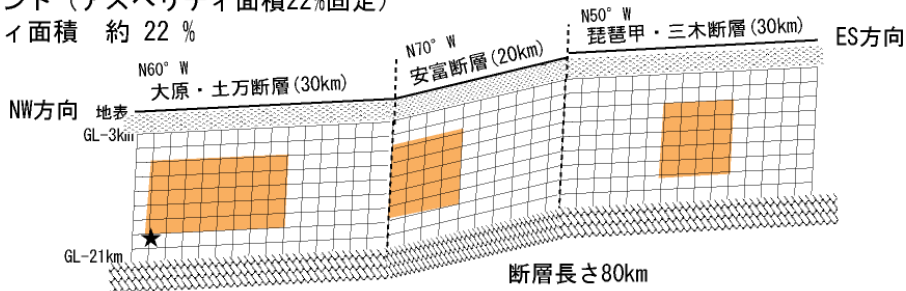
アスペリティ面積 約 41 %



◎モデル1：ケース1-3 山崎断層帯主部 (北西部+南東部)

※1セグメント (アスペリティ面積22%固定)

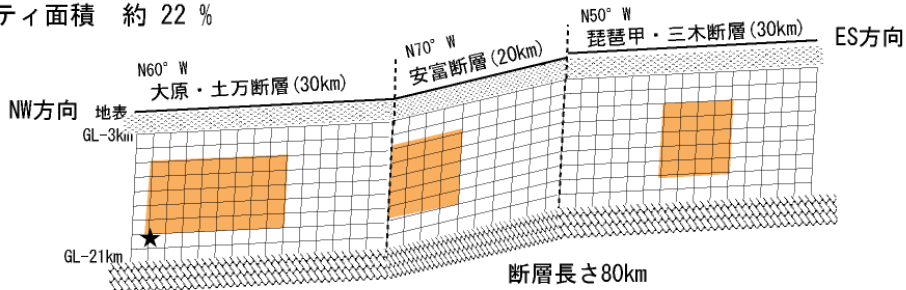
アスペリティ面積 約 22 %



◎モデル1：ケース1-4 山崎断層帯主部 (北西部+南東部)

※Fujii and Matsu'ura 3.1MPa (アスペリティ面積22%固定)

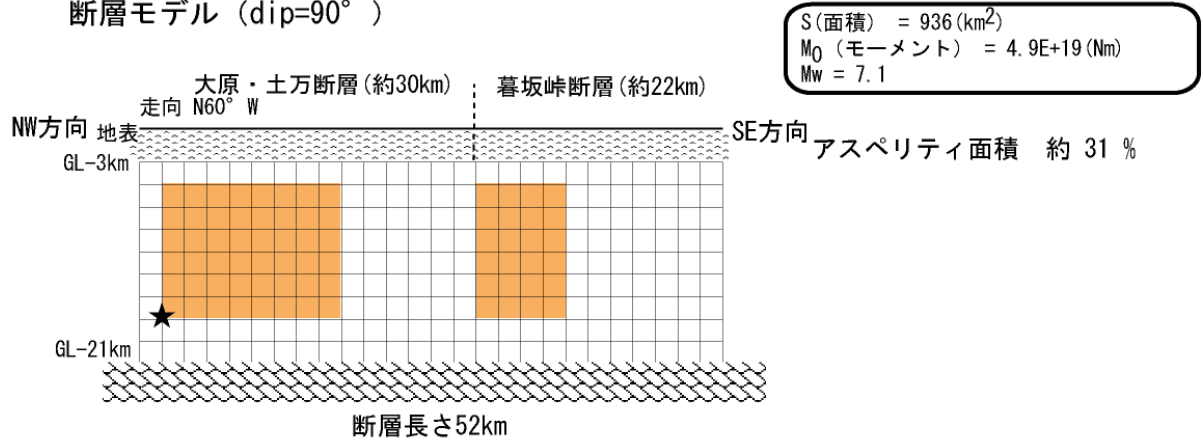
アスペリティ面積 約 22 %



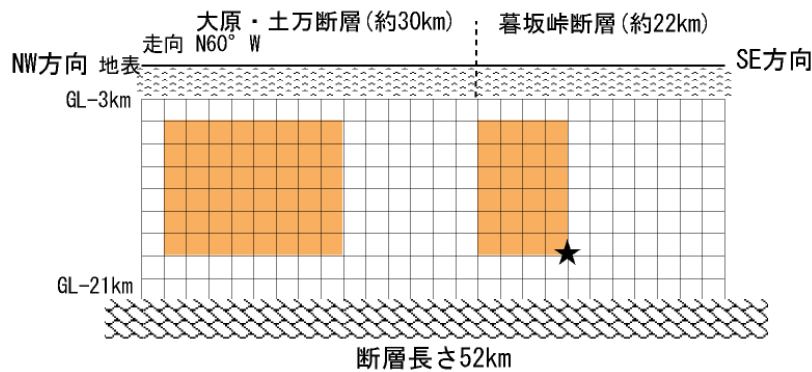
★ 破壊開始点 ■ アスペリティ領域 □ 要素断層 (2km×2km)

図2-1 想定した震源断層モデル
(モデル1：大原断層・土万断層・安富断層と南東部との連動)

◎モデル2：ケース2-1 山崎断層帯主部北西部（大原断層・土万断層・暮坂峠断層）
断層モデル（dip=90°）



◎モデル2：ケース2-2 山崎断層帯主部北西部（大原断層・土万断層・暮坂峠断層）



◎モデル3 山崎断層帯主部南東部（琵琶甲断層・三木断層）
断層モデル（dip=90°）

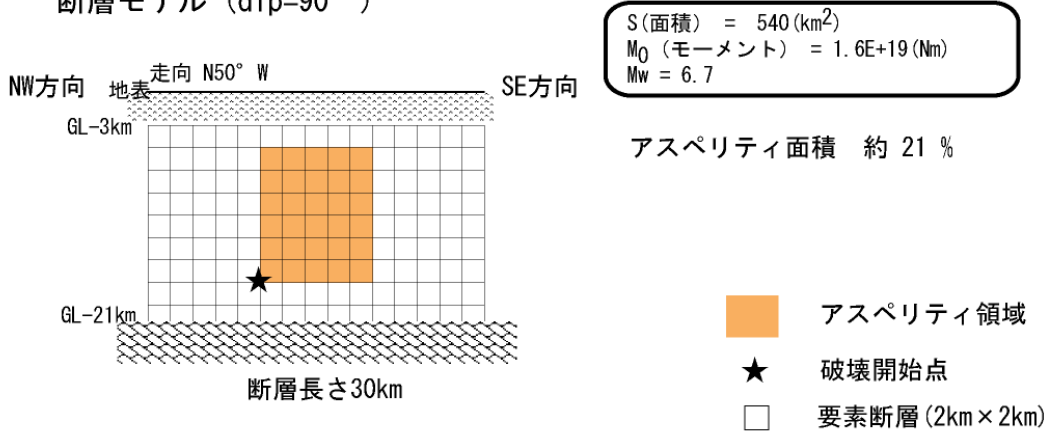
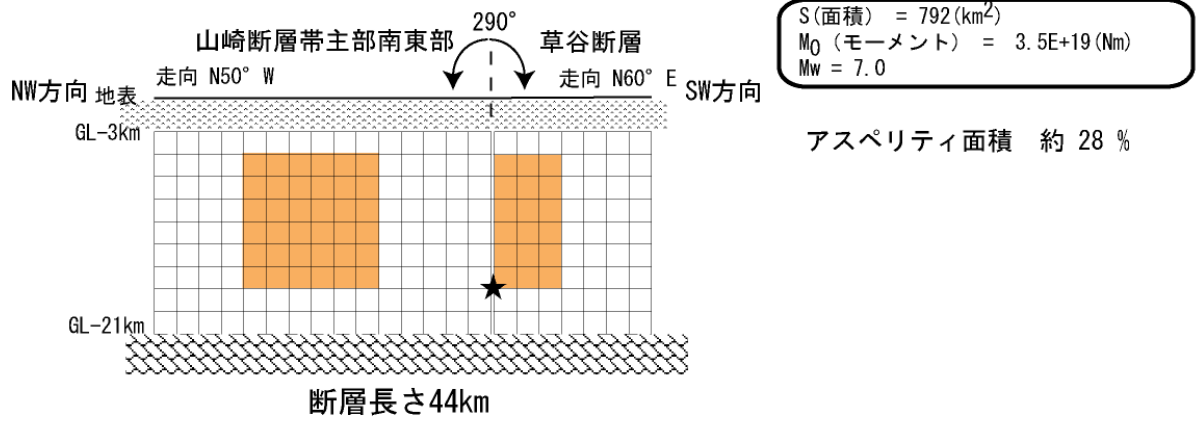


図2-2 想定した震源断層モデル（モデル2、3）

◎モデル4 山崎断層帯主部南東部（琵琶甲断層・三木断層）+草谷断層（dip=90°）



◎モデル5 那岐山断層帯（dip=45° N）

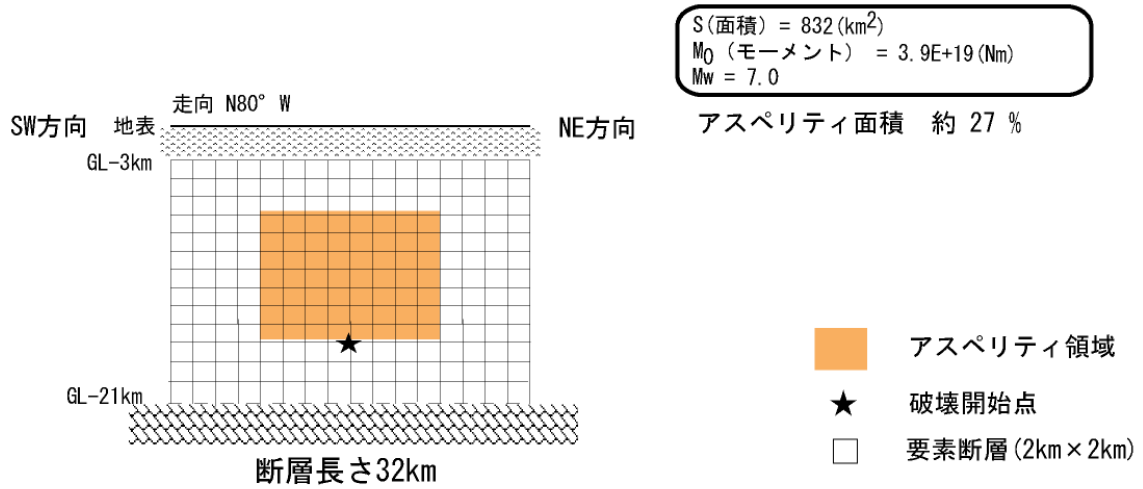


図2-3 想定した震源断層モデル（モデル4、5）